

講義科目名称： 静岡防災まちづくりプロジェクト CV4-C11-50 科目コード： 21490

英文科目名称： Project on Disaster Prevention and Regional Development in Shizuoka

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年前期	3	2	必修
担当教員			
松本 美紀, 鈴木 一史			
添付ファイル			

講義概要	減災社会デザインプロジェクトで学んだ知識や理論を活用し、静岡の防災に関する社会・地域課題を取り上げ、防災まちづくりとしての課題解決に対する統合的な方策を、土木工学の視点で考える力を養う。具体的にはグループを編成し、協働しながら、静岡県内の具体的な地域を選定し、想定される災害及び自治体等の災害対策や復興計画等についてグループで情報収集し、土木工学的視点からの改善や補足事項について討議・発表を行うとともに、相互評価によるフィードバックとブラッシュアップを行う。土木技術者として地域で防災の実務に携わるための能力を身に付ける。		
授業計画	第01回	ガイダンス ・土木工学における学問上の位置づけと、土木工学科カリキュラムにおける位置づけを説明する。 ・土木工学の視点からみた防災まちづくりの重要性について概要を説明する。 (AL1)	
	第02回	静岡県に関連する災害 ・過去の静岡県に関連する災害について学習する。 ・静岡県の地域性などの特徴を踏まえ、起こり得る自然災害について学ぶ。 (AL1)	
	第03回	静岡の防災まちづくり ・ゲストスピーカー（静岡県土木等）による静岡防災に関する情報提供をもとに、静岡の防災まちづくりに対する土木工学的視点から地域課題を考える。 (AL1)	
	第04回	防災まちづくりにおける地域課題 ・グループを編成し、基礎自治体等地域を選定し、防災まちづくり計画の情報収集を行う。 (AL4)	
	第05回	防災まちづくりの現状及び問題分析 ・調査設計手法を学び、該当地域の防災計画における問題に対する現状を分析する。また分析のための調査計画をたてる。 (AL5)	
	第06回	人的被害による被害想定 ・人的被害の被害想定について、実際の防災まちづくり計画及び過去の災害を踏まえて考える。 (AL5)	
	第07回	ライフラインの被害想定 ・ライフラインの被害想定について、実際の防災まちづくり計画及び過去の災害を踏まえて考える。 (AL5)	
	第08回	起こり得る災害による被害想定 ・これから起こり得る災害による被害想定について、実際の防災まちづくり計画及び過去の災害を踏まえて考える。 (AL5)	
	第09回	次の大災害に向けた地域の課題解決 ・事業継続計画や、防災まちづくり、復旧計画など、災害を想定した地域の課題解決について現在の計画の見直しを提案する。 (AL5)	
	第10回	地域の課題解決に向けた提案内容の整理 ・該当地域の防災まちづくり計画について、土木工学的視点から再検討した内容を整理する。調査分析の取りまとめを行う。 (AL5)	
	第11回	防災まちづくり計画の見直し提案資料の作成 ・静岡の防災について、土木工学的視点からみた地域課題の解決に関する提案を取りまとめ、資料として整理し、発表準備を行う。 (AL5)	
	第12回	発表準備 ・グループ内で見直した防災まちづくり計画について、整理するとともに発表準備を行う。 (AL5)	
	第13回	合同発表会1 ・各グループが提案する防災まちづくり計画の発表及び討議し、学生間で評価する ・自治体担当者等による公聴 (AL6)	
	第14回	合同発表会2 ・各グループが提案する防災まちづくり計画の発表及び討議し、学生間で評価する ・自治体担当者等による公聴 (AL6)	
	第15回	外部ゲスト（自治体等土木担当者）によるフィードバック・期末試験（評価）【特別講師】 ・発表内容に対する講評を受けるとともに、学生及び関係団体と討議する。 (AL6)	

授業形態	・板書および解説による講義 ・グループディスカッションと統合討議 ・プレゼンテーション 講義・演習 アクティブラーニング：①：3回，②：0回，③：0回，④：1回，⑤：8回，⑥：3回
達成目標	・静岡の防災まちづくりについて、調べ、土木工学的視点から意見を述べるができる。 ・グループで自治体の既存の防災計画等について議論し、地域課題の解決案を発表することができる。
評価方法・フィードバック	個人の活動状況（20%）、グループ活動状況（20%）、合同発表会における評価（40%）、レポート等提出物（20%）とする。これらを統合し、100点満点で評価する。原則として、レポート等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。
評価基準	秀(90点以上)，優(89～80点)，良(79～70点)，可(69～60点)，不可(59点以下)
教科書・参考書	資料を配布する。
履修条件	「地球災害プロジェクト」、「減災社会デザインプロジェクト」が履修済みであること。
履修上の注意	・情報収集のため、授業中におけるPCまたはスマートフォン等の端末の利用を許可する。 - ただし、授業目的以外の利用を制限する。 ・出席のみならず、自らが問題発見をする能力を養う授業であるため、グループワークは、積極的に参加すること。
準備学習と課題の内容	・居住地域や静岡県の災害に関する情報に関心をもち、地域課題を自分事化できるよう心掛ける。（毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度）
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:10%, 思考・判断:10%, 関心・意欲:20%, 態度:40%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	